



Photonics Challenge

そこには新たなアイデア・ヒト・技術との出会いがある
その出会いの先には
光技術を使った新しい産業の創成につながる
可能性があふれている

『ニーズとシーズの融合による新産業の育成』という建学の精神のもとに開催しているPhotonics Challengeは、光技術を応用した新ビジネス創出に取り組む意欲的な人材を発掘し、独創的な事業計画を表彰するビジネスコンテストです。社会課題（ニーズ）と光を用いた独自の技術（シーズ）とアイデアがマッチしているビジネスプランはもちろんのこと、「ニーズは把握しているが、解決に至るまでのアイデアに何かが欠けている」「アイデアもある、それを実行するための技術も揃っている。なのに、なぜかプラン通りいかない」といった方も対象です。何より大事なものは、あなたのプランのポテンシャルを示すこと。

〈 浜松光宣言2013 〉

本コンテストは、『浜松光宣言2013』で示されているこれからの光応用産業発展の主役であるベンチャーや中小企業が活発に活動できる環境をつくる、という理念が込められた「光の先端都市HAMAMATSU」の実現につなげる取り組みのひとつです。



次のステージへの進み方はひとつじゃない

光との出会い

人脈づくり

技術開発の
進展

認知度UP

資金調達

販路開拓

Photonics Challenge

光ならできるかもしれない

このパンフレットを手にとっている皆様に、イラストや文章にご興味をもっていただけるのは我々のまわりにあふれている光のおかげです。しかし、光の専門家でない方々にとっては、当然すぎて、光が何をしているかなどは興味のない話かもしれません。

光が物質に出会うと、屈折・吸収・散乱・回折などが起こります。その時、物質の表面、あるいは、内部では物質の特性や構造が深く関わるドラマが起こっているはず。私たちはどんなビジネスにも、同じようなドラマがあるはずだと考えています。研究成果を新しいビジネスに作り上げる際に、人やモノに限らず様々な出会いがドラマを作り出すはず。まだ、光の応用の無限の可能性に出会っていなかったら、是非、このパンフレットを片手にご一考ください。

物質がかかわる限り、そこにあるドラマが何なのか？そこで何が起きているのかを知るための鍵の1つは光の応用だと思います。あなたのビジネスプランのドアは「光」で開くかもしれません。さあ、ドアを開いてドラマをお楽しみください。

光産業創成大学院大学 学長 伊藤 博康

募集要項はこちら

フォトニクスチャレンジ

検索

URL ▶ <https://www.gpi.ac.jp/challenge/>



お問い合わせ

光産業創成大学院大学
Photonics Challenge 事務局

TEL : 053-484-2501